

# 多聞台理科ニュース



NO.3

## 中秋の名月を見よう

9月29日(金)

中秋の名月とは、旧暦(昔のカレンダー)の8月15日の月をいいます。昔は、月の満ち欠けにもとづいて日が決められ、新月から次の新月までの約30日が1か月でした。旧暦では、いつも新月の日が1日で満月の日が15日ごろになります。

また、1. 2. 3月が春 4. 5. 6月が夏 7. ⑧. 9月が秋 10. 11. 12月が冬でした。旧暦8月15日は、秋のまん中なので「中秋」といいます。旧暦は今のカレンダーと少しずれているので、今年の旧暦8月15日は、9月29日です。

※旧暦から新暦(今のカレンダー)になったのは1872年です。

中秋の名月の日、「だんごとススキをそなえてお月見」が昔からの秋の行事の一つでした。お月見は1000年ほど前に中国から伝わった風習です。秋はみのりの秋と言っているいろいろな実がなる季節なので、くだものや米などがいっぱいとれることをねがっての行事でした。中秋の名月は、とれたいも(丸いいも)をそなえることからいも名月とも呼ばれました。



イラスト:花咲

コペルニクスレーター  
直径93km 兵庫県が  
すっぽり入るほどの大  
きさ

ティコレーター  
満月の頃になるとひと  
きわ明るく輝く光条が見  
える、

### 月のデーター

- ・直径3476km (地球の4分の1)
- ・地球からの距離 約38万km
- ・地球のまわりを回る周期 約27日
- ・満ち欠けの周期 約29.5日

### 危難の海

直径500kmほどの丸  
い形の海です。

### しずかの海

うさぎに見立てると顔の  
部分。50年前に人類が  
最初に着陸したところ

## ☆何に見えるかな 月の模様を観察しよう



はさみをふりあげたかに



もちをつかうさぎ



ほえるライオン



女の人の横顔

月には、白っぽい部分と黒っぽい部分があります。黒っぽい部分を「海」、白っぽい部分を「陸」と呼んでいます。海は、天体（いん石）のしょうとつにより大きな穴（クレーター）があき、底のわれ目から黒っぽいよう岩がわきでて、大きな穴の底をおおってできた部分です。黒っぽく見えるのはわきでてきたよう岩（玄武岩）の色です。「陸」は、地下からのよう岩のわきだしがなかったために白っぽく見えます。いん石のしょうとつによってできたクレーターがそのまま残されている部分です。

海の形は、昔から、いろいろな動物や人の姿に見立てられてきました。海の形はずっと同じですが、見方によっていろいろな物の形を思いうかべることができます。

## ☆家から中秋の名月を見よう

午後8時

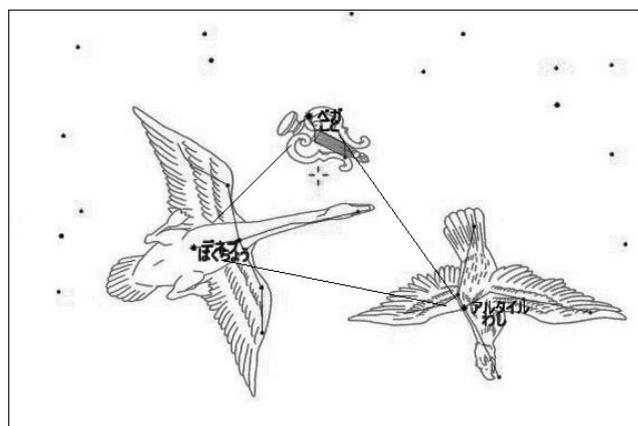


月は、天気さえよければ、家の窓や庭から見えます。この日は、午後6時ごろ、ま東に月が昇ってきます。この時こくには 東にある建物などにかくれて、月を見ることはむずかしいでしょう。午後8時ごろになると月の位置が高くなり、見やすくなってきます。（12時ごろは、ほぼま南に見えます。）月の左下に明るく輝く星は木星、右上に見える星は土星です。

## ☆夏の大三角を見よう

午後8時ごろ空を見上げると、天頂付近（頭の真上）に夏の大三角の星が見えます。

ベガ、アルタイル、デネブ 3つの星を見つけて見ましょう。



※頭のま上の星をベランダなどから身を乗り出して見るのは危険です。絶対にやめましょう。

中秋の名月についての資料は、QRコードを読みとると、スマートフォンで見ることができます。

